

2018年度（平成30年度）播磨西高校支部報告（研究大会）

- 日時 2018年（平成30年）10月25日（木曜日）13時00分～16時30分
- 場所 姫路市文化センター 小ホール
〒670-0971 姫路市西延末426番地1 TEL：079-298-8011
- 内容 第29回播磨西地区学校図書館研究大会
・研究発表
・記念講演
- 講師（提案者・助言者）
研究発表：兵庫県立香寺高等学校 教諭 出羽 しのぶ
指導助言：兵庫県教育委員会播磨西教育事務所
教育振興課指導主事 笹原 新吾
記念講演講師：姫路文学館 学芸課課長補佐 甲斐 史子
- 参加者数 播磨西高校支部29名

6 事例、感想

【事例】

研究発表

兵庫県立香寺高等学校 教諭 出羽 しのぶ

「より良い読書環境を目指して」

学校図書館には司書教諭が配置されていないため、継続的な読書・図書活動が容易ではない。そこで、年次や総合学科推進部が「ビブリオバトル」や「朝の読書」、ビブリオバトルにおけるチャンプ本や教師のお薦め本の紹介等、読書体験のない生徒にも刺激を与える工夫を実践している。

「第36回全国高校生読書体験記コンクール」では生徒が第4位入賞を果たすことができた。個人的な営みである読書を「ツタエル」「ツナゲル」「ヒロゲル」「フカメル」ことで、読書は豊かになる。



3 図書室との連携

(3) 希望・推薦図書

生徒・保護者・職員に希望調査を実施し、購入後コーナーを設置
平成29年度



4 おわりに

人的な読書環境



↓

物的な読書環境

ツタエル

ツナゲル

ヒロゲル

フカメル

記念講演

姫路文学館

学芸課課長補佐 甲斐 史子

「物語が織りなす風景」

1991年の開館から25年の節目にあたる2016年、より開かれた魅力的な文学館を目指してリニューアルオープンした姫路文学館。新設のコーナーのなかでも特に好評を得ているのが、姫路城と城が建つ姫山をめぐる物語を古代から現代までたどる《姫路城歴史ものがたり回廊》である。地域から生み出された物語には、有名無名の人々の記憶や情感、想像力が鮮やかに刻まれている。「播磨国風土記」「万葉集」などの古典はもとより、泉鏡花の「天守物語」や車谷長吉の私小説など近現代の作品にいたるまで、それらは見馴れたはずの風景にいくつもの特別な意味を与えてくれる。



姫路城歴史ものがたり回廊



図書室



姫路東高校
図書文芸部
出演イベント

【感想】

- ・姫路市内の高校では、市立高校には学校司書が配置されているが県立高校には配置されていないことが分かった。学校司書の配置がない場合でも、学校の特色を生かした取組がなされており、工夫の余地はあると感じた。
- ・教師主導の取組だけでなく、生徒会や図書委員など、生徒の主体的な活動による学校図書館の活性化が求められる。
- ・姫路文学館の講堂で高校生がイベントに参加する様子が紹介されていたが、今後、自校においても社会教育施設を活用し、生徒の学びを広げたり深めたりする支援を行っていきたい。

